TOTO

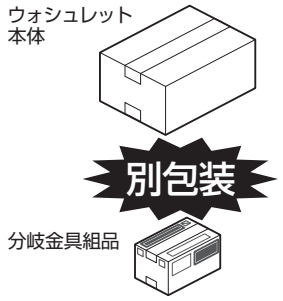
ウォシュレット® 一体形取替機能部 施工説明書

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工業者様へ

①分岐金具組品は別包装です。

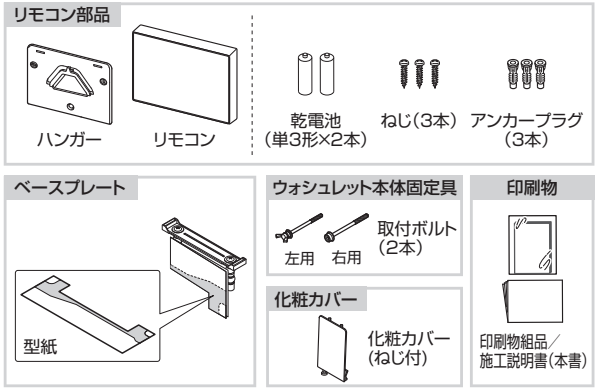


②分岐金具組品は、ウォシュレット本体より先に取り替えてください。
（先に取り替えないとウォシュレット本体の取り付けができません。）

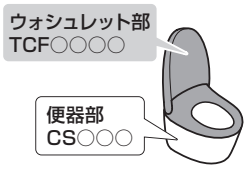
③既設のベースプレートは、必ず同梱のベースプレートに交換してください。
（作動不良の原因になります。）

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。



取り替え可能便器一覧表



ウォシュレット部品番	便器部品番
TCF9561系　TCF980系	CS365B系　CS955B系
TCF9562系　TCF981系	CS366B系
TCF9571系	CS950B系
TCF9572系	CS951B系
TCF9581系	CS952B系
TCF9582系	CS953B系

※機種によっては、製品の形状が異なります。

別包装部品



安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 ⃠ してはいけない「禁止」の内容です。　❗ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警　告　死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

⃠ 禁止	●浴室など湿気の多い場所には設置しない （火災、感電、発熱、ショートの原因になります。）
	●指定する電源（交流100V）以外では使用しない （火災や発熱の原因になります。）
	●電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない （火災や感電の原因になります。）
	●飲用可能な水以外は使用しない （故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。）
	●コンセントは給水位置の真下に設置しない （結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。）
	●給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない （結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。）
	●車輌・船舶など、移動体への設置はしない （火災や感電、ショート、故障などの原因になります。） （便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。）
❗ 必ず守る	●電源プラグは根元まで確実に差し込む （プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。）
	〈2Pプラグの場合〉 ●アース（D種接地）を確実に取り付ける （アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。） 〈3Pプラグの場合〉 ●必ず接地アース極付コンセントに差し込む （変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。）

⚠ 注　意　傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

⃠ 禁止	●便座・便ふたを持って製品を持ち上げない （ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。）
	●給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない （水漏れの原因になります。）
	●止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓や、給水フィルターを取りはずさない （水が噴き出します。）
❗ 必ず守る	●施工は施工説明書に従って確実に行う （正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。）
	●給水フィルター付水抜栓や、給水フィルターを取り付けるときは確実に締める （確実に締めないと水漏れの原因になります。）

⚠ 注　意　傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

❗ 必ず守る	●電池の＋－表示をよく確かめて入れる （電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。）
	●長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく （電池の液漏れの原因になります。）

取り付け前のご注意

1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
3. 定格15A以上、交流100V（50/60Hz）の埋込アースターミナル付コンセント（3Pプラグの場合は設置コンセント）を単独で使用してください。
（電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体のラベルに記載しています。）
4. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
5. 電源コードの長さはウォシュレット：約1.0m、ヒーター付便器：約1.1mです。
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
6. 給水圧力範囲は0.07MPa（20L/min流動時）～0.75MPa（静止時）です。この圧力範囲でご使用ください。
給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
7. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
8. 同梱以外の分岐金具、パッキンを使わないでください。

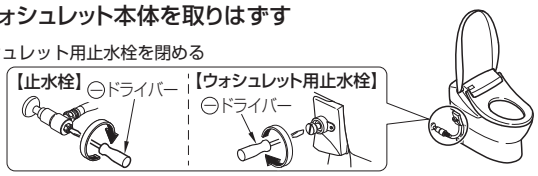
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取付方法

●機種によっては、製品の形状などが異なります。
●分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

1 既設のウォシュレット本体を取りはずす

①止水栓とウォシュレット用止水栓を閉める

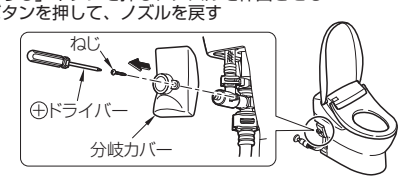


②給水管の圧抜きをする
1．既設のリモコンの「ノズルそうじ」ボタンを押し、ノズルを伸出させる
2．もう一度「ノズルそうじ」ボタンを押して、ノズルを戻す

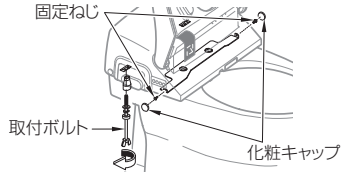
③電源プラグをコンセントから抜く

④既設のリモコンを取りはずす

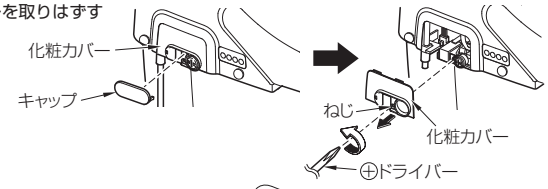
⑤分岐カバーを取りはずす



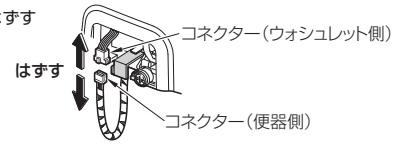
⑥化粧キャップ、固定ねじ、取付ボルト（左右各2カ所）を取りはずす
※化粧キャップ、固定ねじは機種によって、取りはずしが不要な場合があります。



⑦化粧カバーを取りはずす



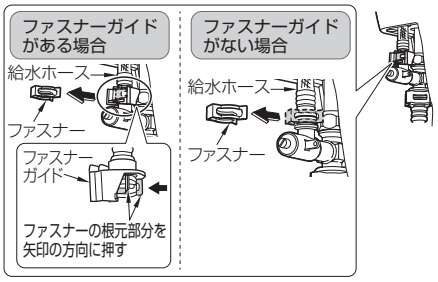
⑧便器洗浄バルブ用コネクターをはずす



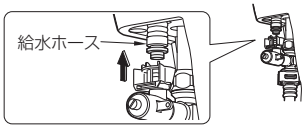
⑨給水ホースを取りはずす

❶ファスナーを取りはずす

※製造時期によってファスナーガイドがついていない場合があります。



❷給水ホースを取りはずす



❸ファスナーガイドを取りはずす
（ファスナーガイドがある場合のみ）



⑩ウォシュレット本体を取りはずす
※機種によっては、製品の形状が異なります。

注意
製品を取りはずす際は、製品を無理に引っ張らないでください。（破損の原因になります。）
取りはずせない場合は、手順①～⑨を再度確認してください。

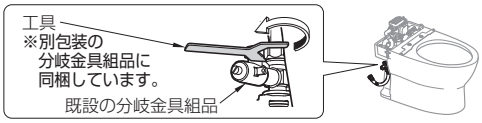


2 分岐金具組品を取り替える

①既設の給水ホースを止水栓から取りはずす



②既設の分岐金具組品を取りはずす



取付方法

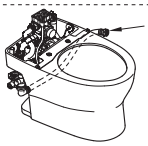
2 分岐金具組品を取り替える（つづき）

③分岐金具組品を取り付ける

注意 **・必ず別包装の分岐金具組品とパッキンを取り付けてください。**
・給水ホースが折れ曲がらないように注意して取り付けてください。

右給水の場合

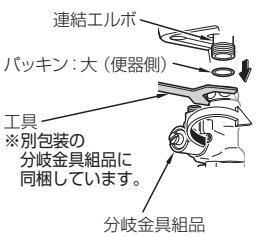
便器の裏に給水ホースを通して、右側に取り回してから取り付けてください。



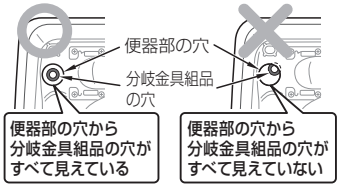
ヒーター付便器・水抜き併用方式の場合

給水ホースの水抜きができるように勾配を確保してから取り付けてください。

❶分岐金具組品を取り付ける

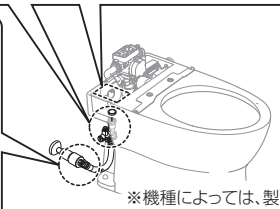


注意 **分岐金具組品を固定する際に、上面から見て便器部の穴から分岐金具組品の穴がすべて見える位置に合わせてください。**
（ウォシュレット本体の給水ホースが接続できません。）



❷分岐金具組品と止水栓を接続する



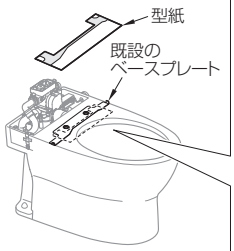


※機種によっては、製品の形状が異なります。

3 ベースプレートの取り付け

注意 **必ず同梱のベースプレートを取り付けてください。**

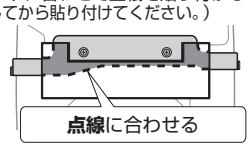
①既設のベースプレートに合わせて型紙を貼り付ける



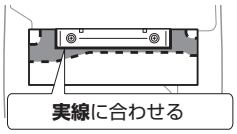
※機種によっては、製品の形状が異なります。

❶便器表面の汚れをふきとる
❷型紙の裏面のテープをはがす（2カ所）
❸既設のベースプレートに合わせて型紙を貼り付ける
（便器表面をかわかしてから貼り付けてください。）

ベースプレートが金属の場合

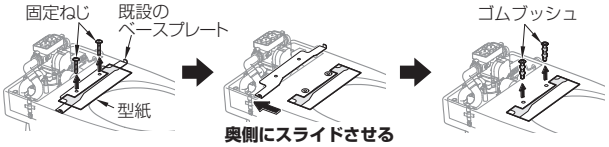


ベースプレートが金属以外の場合



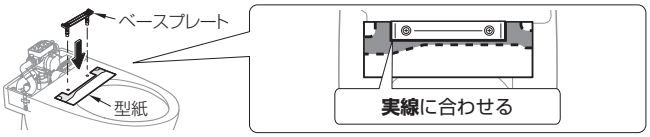
②既設のベースプレートを取りはずす

お願い **型紙がズレないようにして取りはずしてください。**



③ベースプレートを便器に取り付ける

❶ベースプレートを型紙の位置に合わせて便器に取り付ける



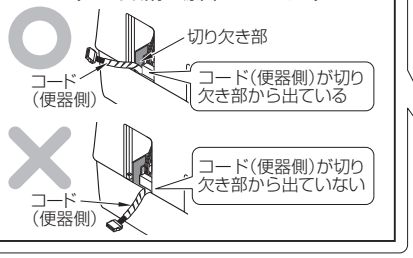
❷回らなくなるまでボルトをしっかり締め付ける
❸型紙をはがす

取付方法

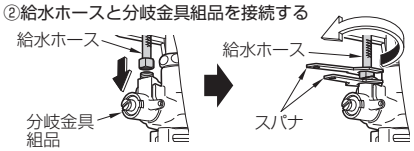
4 ウォシュレット本体の取り付け

①ウォシュレット本体を便器の真上から置く

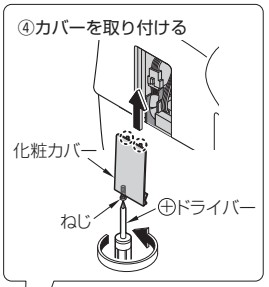
注意 ウォシュレット本体を便器の上に置く際は、コード（便器側）をウォシュレット本体の切り欠き部から出してください。（コード断線の原因になります。）



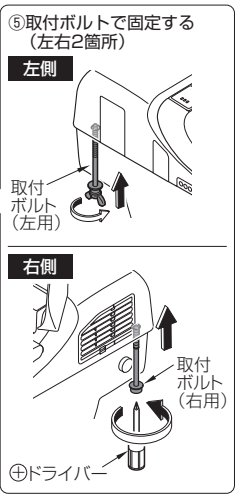
②給水ホースと分岐金具組品を接続する



④カバーを取り付ける

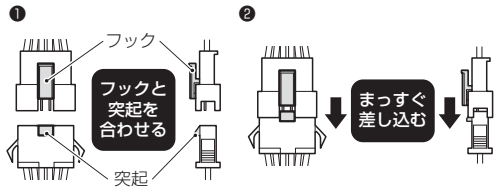


⑤取付ボルトで固定する（左右2箇所）

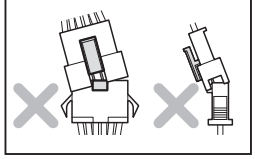


③コネクターを接続する

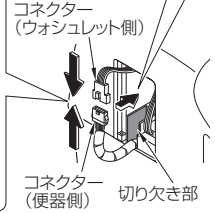
注意 コネクターを正しく差し込まないと作動不良の原因になります。



斜め挿入禁止（ピンが曲がります）



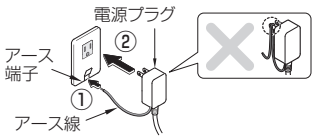
❸接続したコネクターのコードを切り欠き部に押し込む



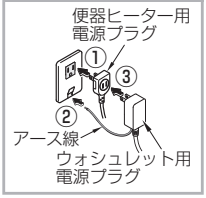
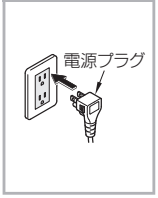
電源プラグ（アース線）の接続と確認

お願い ノズル伸出口にテープが貼られている場合は、はがしてください。

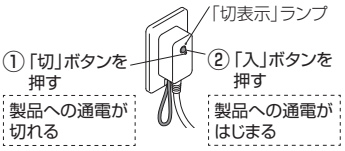




●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

ヒーター付便器の場合	3Pプラグの場合
	

●電源プラグの作動確認をする

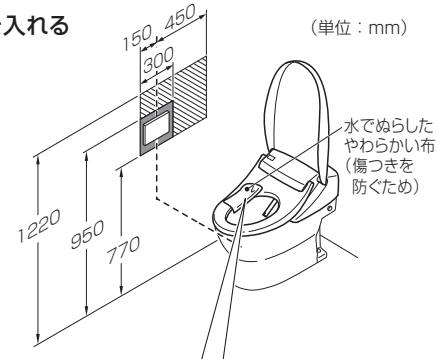


「切表示」ランプが、
①で点灯、②で消灯すれば正常です。

リモコンの取り付け

1 リモコンに乾電池を入れる

2 取付位置を決める

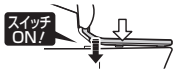


取付位置の目安

使いやすい位置の目安

【作動の確認】

① 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



②「おしり」ボタンを押して、ノズルが伸出することを確認する

③「止」ボタンを押す

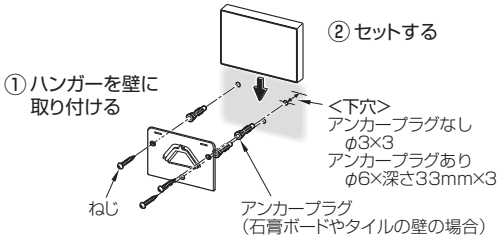
作動しない場合

➡リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

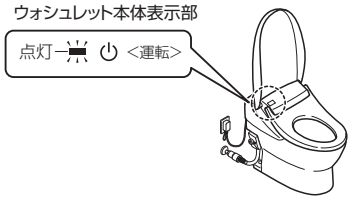
- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
- 天井や壁の色（黒っぽい場合）・形状・材質などの条件が合わないとき
- 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
- インバーター方式の照明下のとき

3 ハンガーの取り付け



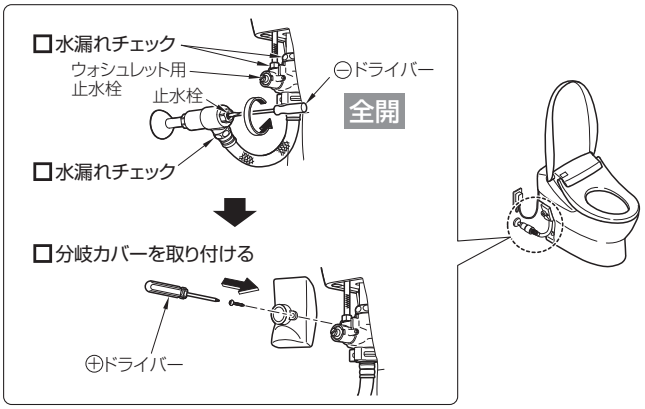
試運転（各項目を確認後、□に✓してください）

●試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグが、コンセントに差し込まれていることを確認してください。
（ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。）



1 ウォシュレット本体の確認

□止水栓とウォシュレット用止水栓を全開にする
※機種によっては、止水栓の位置が異なります。



□運転ランプが点滅していませんか
→凍結防止が「入」に設定されています。
※仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。

●凍結防止を「入」にすると、右記のように作動します。



試運転（各項目を確認後、□に✓してください）

2 機能の確認

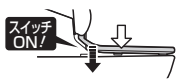
□便器洗浄しますか

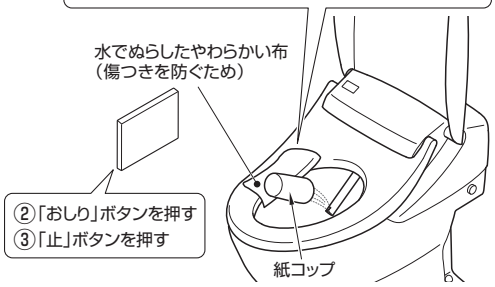
❶リモコンの「大」洗浄ボタンを押す

□ノズルから洗浄水が出ますか

【作動の確認】

①便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる





□リモコンで便ふたがきちんと開きますか

※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合



❶障害物を取り除く

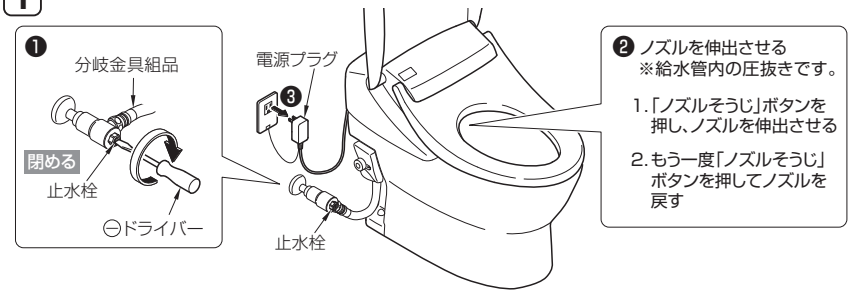
❷電源プラグを抜き、約5秒後に差し込む

❸「便座開閉」ボタンを押す

給水フィルターの掃除（試運転後）

【便器側】

1



2



注意 確実に締めないと水漏れの原因になります。

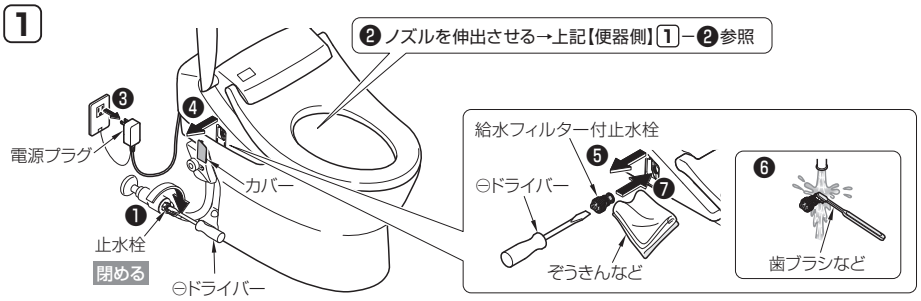
3



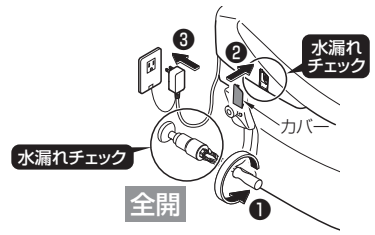
給水フィルターの掃除（試運転後）

【ウォシュレット側】

1



2



製品引き渡しまでの期間が長い場合 ※必ず水抜きをしてください。（故障の原因）

1 ■流動方式のとき 止水栓を閉める

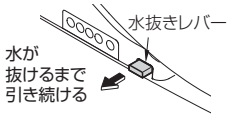
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める

お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。

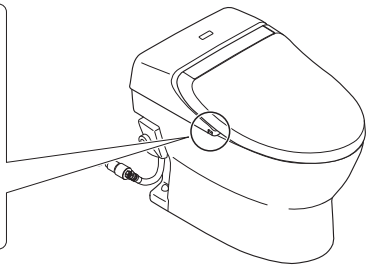
2 配管の水を抜く

（**給水フィルターの掃除（試運転後）**
【ウォシュレット側】1−❷❸❹❺❼参照）
※電源プラグは抜いたままにしておいてください。

3 ウォシュレット内の水を抜く



●ノズル付近から水が便器内にでます。
水が完全に抜けるまで約20秒かかります。



■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水（封水）に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
（不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。）

施工業者様へ

●取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
●ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。